

野菜の年齢階級別摂取量について

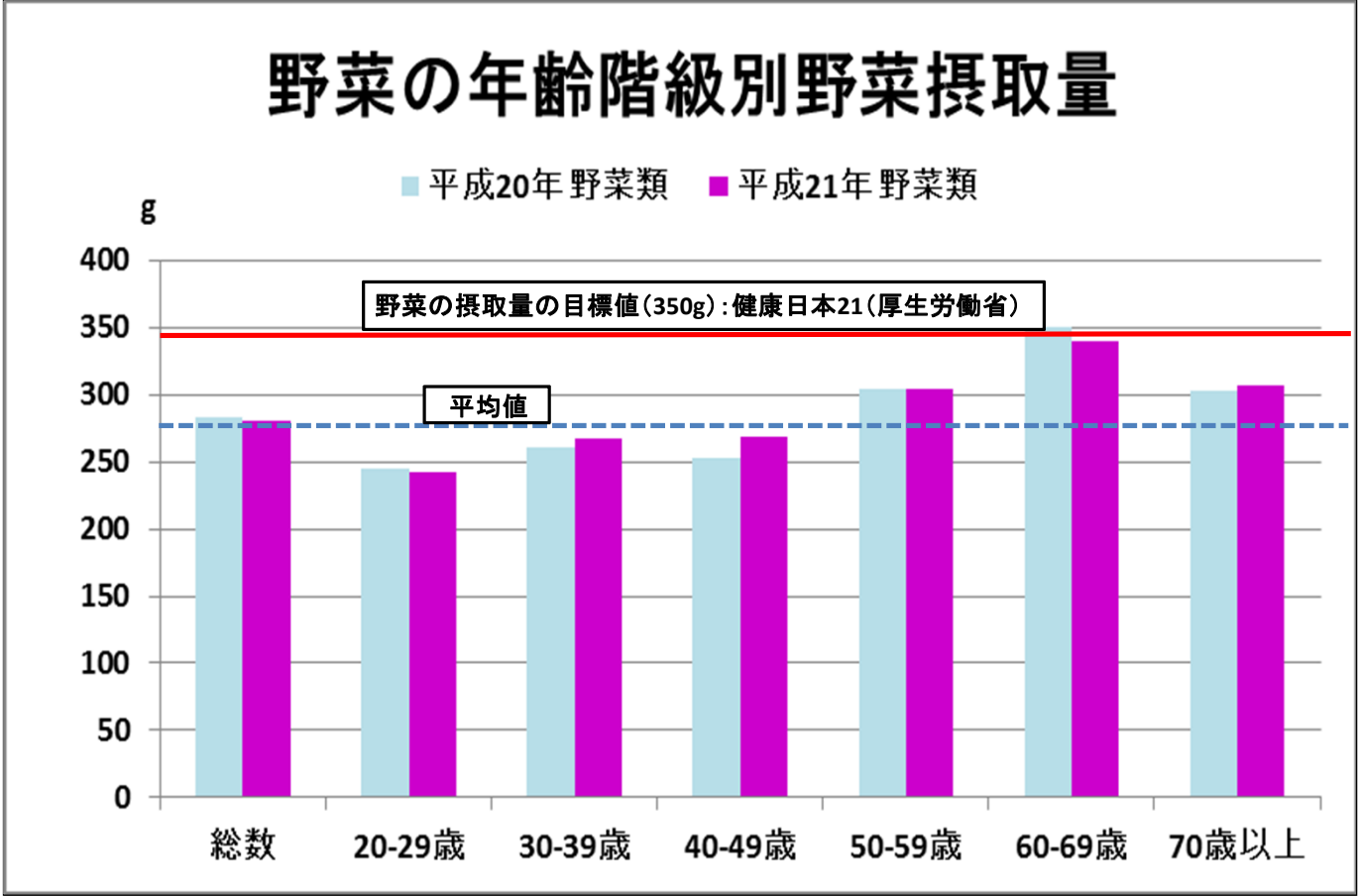
野菜の年齢階級別摂取量について

平成21年国民健康・栄養調査が12月7日に公表された。それによると、野菜摂取量は前年に比べ、ほぼ横ばいとなっているものの、依然として、20代、30代、40代の摂取量が少ない水準となっている。

また、前年との比較でみると30代、40代は、若干改善のきざしがあるものの、60代で減少しているといった動きがみられる。

こうした中で、20代は摂取量が減少傾向にあり、こうした層をターゲットとする消費拡大が求められる。

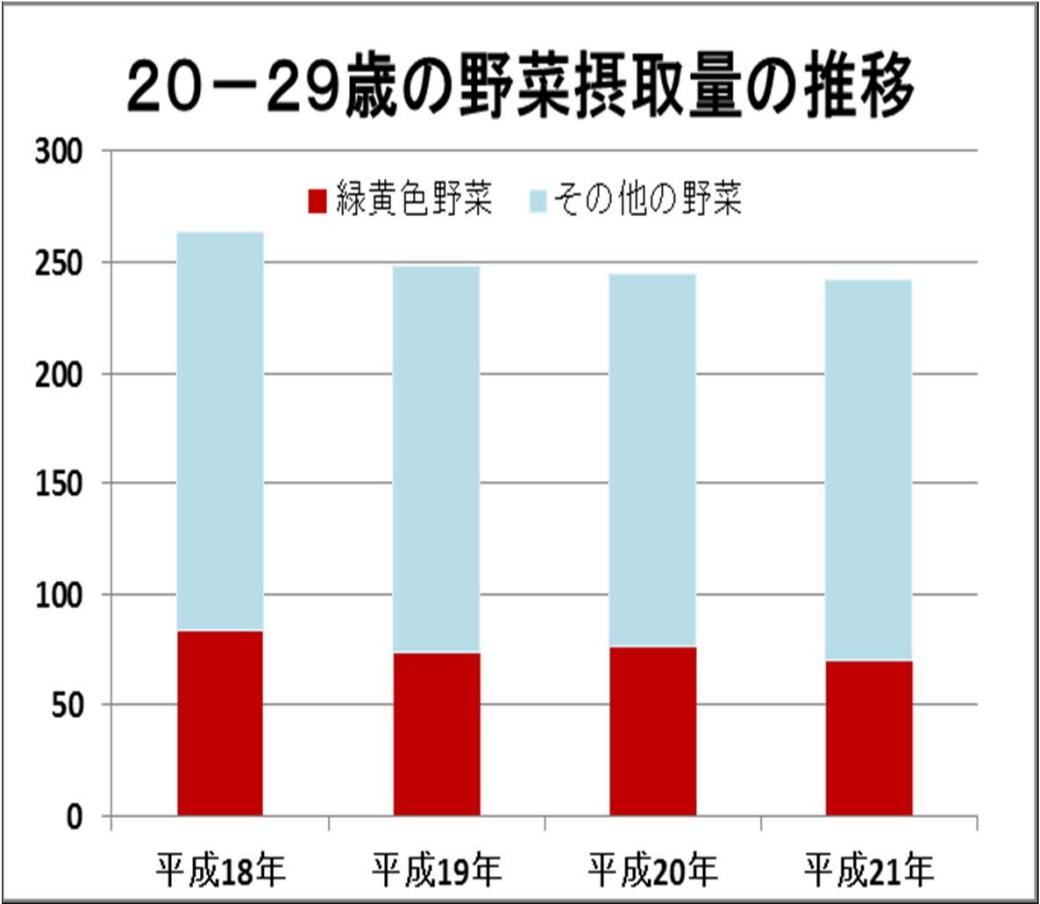
野菜の年齢階級別摂取量と20代の野菜の摂取量の推移



(単位:g,%)

	総数	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
平成20年 野菜類	282.8	244.6	260.7	253.1	304.2	349.9	303.1
平成21年 野菜類	280.9	241.9	266.8	268.5	303.5	339.6	306.4
対平成20年比	99	99	102	106	100	97	101

資料：厚生労働省「国民健康・栄養調査結果」



《大規模生産者・法人の皆様への窓口を開設しました！（直接契約課）》

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、太田、三部 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484